

平成 28 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルデザイン
代表者名 代表取締役社長 星川 征仁
(コード：4764、JASDAQ グローズ)
問合せ先 管理部 桐山 雅志
(TEL. 03-5259-5300)

(訂正)「平成 27 年 1 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年6月12日に開示いたしました「平成27年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容

訂正内容と理由につきましては、別途、本日（平成28年10月14日）付「過年度に係る有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度及び平成29年1月期第1四半期に係る決算短信（訂正）の公表並びに平成29年1月期第2四半期報告書提出及び平成29年1月期第2四半期決算発表に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正の理由

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成27年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デジタルデザイン
コード番号 4764 URL <http://www.d-d.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺井和彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 成瀬憲一 TEL 03-5259-5300
四半期報告書提出予定日 平成26年6月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第1四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第1四半期	42	14.2	0	—	0	—	△0	—
26年1月期第1四半期	37	△50.3	△11	—	△11	—	△12	—

(注) 包括利益 27年1月期第1四半期 △0百万円(—%) 26年1月期第1四半期 △11百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年1月期第1四半期	△0.	14	—	—
26年1月期第1四半期	△4.	48	—	—

(注) 当社は、平成25年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首におこなわれたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
27年1月期第1四半期	1,013		974		96.2		362.	25
26年1月期	1,013		975		96.3		362.	40

(参考) 自己資本 27年1月期第1四半期 974百万円 26年1月期 975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
26年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
27年1月期	—					
27年1月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

当社グループは、売上高並びに費用に関して短期的な変動要素が多いため、四半期ごとに決算実績及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年1月期1Q	2,691,000株	26年1月期	2,691,000株
27年1月期1Q	－株	26年1月期	－株
27年1月期1Q	2,691,000株	26年1月期1Q	2,691,000株

(注) 当社は、平成25年8月1日付で株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して上記株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続きの対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビューは実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、売上高並びに費用に関して短期的な変動要素が多いため、四半期ごとに決算実績及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただいております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済を振り返りますと、不安定な海外景気等一部に懸念があったものの、個人消費や企業の設備投資の着実な改善に加え、一部商品における消費税増税前の駆け込み需要もあり、景気は回復基調で推移しました。

このような状況の下、当社グループはモデリング技術や自社ネットワーク製品を活用したシステム開発サービス及びデジタル画像、映像に関連する処理技術のソリューションの販売を推進してまいりました。

技術開発においては、製品関連技術分野に注力し、データベースアクセス高速化ミドルウェア『FastConnectorAndroid版』を発表し、Windows系統のPDA端末に加え、Android端末対応版をラインアップいたしました。

デジタル画像、映像分野では、捜査支援用画像処理システム「ImageReporter」シリーズが、前期に引き続き、今期も地方検察庁で落札、納入に成功しております。

体制面におきましては、お客様のご要望に応えることを軸にした販売、製造、管理体制の適正化、チームプレイを重視した管理者の意識改革を進めると共に単月の営業利益を意識した売上並びに費用管理を実施し続けてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間におきましては、売上高42,974千円(前連結会計年度比14.2%増)、営業利益471千円(前年同期は営業損失11,189千円)、経常利益540千円(前年同期は経常損失11,081千円)、四半期純損失385千円(前年同期は四半期純損失12,059千円)となりました。

(ITサービス事業)

ITサービス事業におきましては、超解像の画像処理エンジンを搭載した「ImageReporter」シリーズ、仕事で使う動画共有ソフト「CorporateCAST」、データ通信ソフト「FastConnector」シリーズを軸に、モデリング技術を活用したシステム構築及びデジタル画像、映像に関する処理技術を活用したシステム構築を実施してまいりました。

以上の結果、当四半期連結累計期間におきましては、売上高39,785千円(前年同期比14.5%増)、営業利益9,165千円(前年同期は営業損失156千円)となりました。

(自社ビル賃貸事業)

連結子会社である株式会社ディーキューブが保有する賃貸用不動産(自社ビル)の賃料収入であります。現在、株式会社ディーキューブが保有する6階建ての当該自社ビルの2フロアに当社グループが入居し、その他をテナントとして賃貸しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,013,698千円(前連結会計年度末と比べ545千円増)となりました。

流動資産は、697,576千円(前連結会計年度末と比べ4,595千円増)となりました。これは主に現金及び預金が661,958千円(前連結会計年度と比べ9,228千円減)、棚卸資産が3,099千円(前連結会計年度末と比べ4,368千円減)となりましたが、売上債権が29,010千円(前連結会計年度末と比べ18,612千円増)となったこと等によるものであります。

固定資産は、316,122千円(前連結会計年度末と比べ4,049千円減)となりました。これは主に投資その他の資産が129,246千円(前連結会計年度末と比べ3,579千円減)となったこと等によるものであります。

流動負債は、32,478千円(前連結会計年度末と比べ864千円増)となりました。これは主に支払手形及び買掛金が3,667千円(前連結会計年度末と比べ2,688千円増)、前受金18,524千円(前連結会計年度末と比べ1,802千円増)、未払法人税等が2,213千円(前連結会計年度末と比べ3,964千円減)になったことによるものです。

固定負債は、6,330千円(前連結会計年度末と比べ3千円減)となりました。

純資産は、974,889千円(前連結会計年度末と比べ315千円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは売上並び費用に関して短期的な変動要素が多いため四半期ごとに決算実施及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただいております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	671,187	661,958
受取手形及び売掛金	10,398	29,010
商品及び製品	2,646	2,566
仕掛品	4,241	—
原材料及び貯蔵品	579	532
その他	4,234	4,293
貸倒引当金	△307	△787
流動資産合計	692,980	697,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,226	26,226
減価償却累計額	△2,600	△2,908
建物及び構築物(純額)	23,626	23,317
工具、器具及び備品	2,175	2,175
減価償却累計額	△1,904	△1,940
工具、器具及び備品(純額)	270	234
土地	155,646	155,646
有形固定資産合計	179,543	179,198
無形固定資産		
ソフトウェア	5,871	4,686
その他	1,931	2,991
無形固定資産合計	7,802	7,677
投資その他の資産		
投資有価証券	12,239	12,230
差入保証金	2,952	2,952
保険積立金	95,715	95,715
長期前払費用	17,944	17,561
長期貸付金	7,574	4,386
破産更生債権等	162,332	162,332
貸倒引当金	△165,932	△165,932
投資その他の資産合計	132,826	129,246
固定資産合計	320,172	316,122
資産合計	1,013,153	1,013,698

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	978	3,667
未払金	2,105	2,150
未払法人税等	6,178	2,213
前受金	16,721	18,524
その他	5,630	5,922
流動負債合計	31,614	32,478
固定負債		
長期預り保証金	6,267	6,267
繰延税金負債	66	63
固定負債合計	6,333	6,330
負債合計	37,948	38,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,119,605	1,119,605
資本剰余金	1,348,605	1,348,605
利益剰余金	△1,493,125	△1,493,511
株主資本合計	975,085	974,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119	113
その他の包括利益累計額合計	119	113
少数株主持分	—	75
純資産合計	975,205	974,889
負債純資産合計	1,013,153	1,013,698

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日)
売上高	37,640	42,974
売上原価	16,530	18,630
売上総利益	21,109	24,343
販売費及び一般管理費	32,299	23,872
営業利益又は営業損失(△)	<u>△11,189</u>	<u>471</u>
営業外収益		
受取利息	69	65
その他	38	—
営業外収益合計	108	65
営業外費用		
為替差損	—	0
営業外費用合計	—	0
経常利益又は経常損失(△)	<u>△11,081</u>	<u>540</u>
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	<u>△11,081</u>	<u>540</u>
法人税、住民税及び事業税	869	849
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△11,950</u>	<u>△309</u>
少数株主利益	108	75
四半期純損失(△)	<u>△12,059</u>	<u>△385</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△11,950</u>	<u>△309</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	△5
その他の包括利益合計	63	△5
四半期包括利益	<u>△11,887</u>	<u>△315</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△11,995</u>	<u>△391</u>
少数株主に係る四半期包括利益	108	75

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ITサービス事業	自社ビル 賃貸事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	34,754	2,885	37,640	—	37,640
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,900	1,900	△1,900	—
計	34,754	4,786	39,540	△1,900	37,640
セグメント利益又は損失	△156	2,634	2,478	△13,667	△11,189

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△13,667千円には、セグメント間消去500千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△14,167千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年2月1日 至 平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ITサービス事業	自社ビル 賃貸事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	39,785	3,188	42,974	—	42,974
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,865	1,865	△1,865	—
計	39,785	5,053	44,839	△1,865	42,974
セグメント利益	9,165	2,446	11,612	△11,140	471

(注) 1. セグメント利益の調整額△11,140千円には、セグメント間消去1,200千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△12,340千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(訂正前)



平成27年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デジタルデザイン
コード番号 4764 URL <http://www.d-d.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺井和彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 成瀬憲一 TEL 03-5259-5300
四半期報告書提出予定日 平成26年6月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第1四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第1四半期	42	14.2	0	—	0	—	△0	—
26年1月期第1四半期	37	△50.3	△11	—	△11	—	△12	—

(注) 包括利益 27年1月期第1四半期 △0百万円(—%) 26年1月期第1四半期 △12百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年1月期第1四半期	△0.	18	—	—
26年1月期第1四半期	△4.	54	—	—

(注) 当社は、平成25年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首におこなわれたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
27年1月期第1四半期	1,012		974		96.2		361.	97
26年1月期	1,012		974		96.3		362.	16

(参考) 自己資本 27年1月期第1四半期 974百万円 26年1月期 974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
26年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
27年1月期	—					
27年1月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

当社グループは、売上高並びに費用に関して短期的な変動要素が多いため、四半期ごとに決算実績及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年1月期1Q	2,691,000株	26年1月期	2,691,000株
27年1月期1Q	－株	26年1月期	－株
27年1月期1Q	2,691,000株	26年1月期1Q	2,691,000株

(注) 当社は、平成25年8月1日付で株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。前連結会計年度の期首に当該株式分割がおこなわれたと仮定して上記株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続きの対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビューは実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、売上高並びに費用に関して短期的な変動要素が多いため、四半期ごとに決算実績及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただいております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済を振り返りますと、不安定な海外景気等一部に懸念があったものの、個人消費や企業の設備投資の着実な改善に加え、一部商品における消費税増税前の駆け込み需要もあり、景気は回復基調で推移しました。

このような状況の下、当社グループはモデリング技術や自社ネットワーク製品を活用したシステム開発サービス及びデジタル画像、映像に関連する処理技術のソリューションの販売を推進してまいりました。

技術開発においては、製品関連技術分野に注力し、データベースアクセス高速化ミドルウェア『FastConnector Android版』を発表し、Windows系統のPDA端末に加え、Android端末対応版をラインアップいたしました。

デジタル画像、映像分野では、捜査支援用画像処理システム「ImageReporter」シリーズが、前期に引き続き、今期も地方検察庁で落札、納入に成功しております。

体制面におきましては、お客様のご要望に応えることを軸にした販売、製造、管理体制の適正化、チームプレイを重視した管理者の意識改革を進めると共に単月の営業利益を意識した売上並びに費用管理を実施し続けてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間におきましては、売上高42,974千円（前連結会計年度比14.2%増）、営業利益365千円（前年同期は営業損失11,336千円）、経常利益430千円（前年同期は経常損失11,228千円）、四半期純損失494千円（前年同期は四半期純損失12,206千円）となりました。

(ITサービス事業)

ITサービス事業におきましては、超解像の画像処理エンジンを搭載した「ImageReporter」シリーズ、仕事で使う動画共有ソフト「CorporateCAST」、データ通信ソフト「FastConnector」シリーズを軸に、モデリング技術を活用したシステム構築及びデジタル画像、映像に関する処理技術を活用したシステム構築を実施してまいりました。

以上の結果、当四半期連結累計期間におきましては、売上高39,785千円（前年同期比14.5%増）、営業利益9,165千円（前年同期は営業損失156千円）となりました。

(自社ビル賃貸事業)

連結子会社である株式会社ディーキューブが保有する賃貸用不動産（自社ビル）の賃料収入であります。現在、株式会社ディーキューブが保有する6階建ての当該自社ビルの2フロアに当社グループが入居し、その他をテナントとして賃貸しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,012,902千円（前連結会計年度末と比べ429千円増）となりました。

流動資産は、697,566千円（前連結会計年度末と比べ4,591千円増）となりました。これは主に現金及び預金が661,958千円（前連結会計年度と比べ9,228千円減）、棚卸資産が3,099千円（前連結会計年度末と比べ4,368千円減）となりましたが、売上債権が29,010千円（前連結会計年度末と比べ18,612千円増）となったこと等によるものであります。

固定資産は、315,336千円（前連結会計年度末と比べ4,162千円減）となりました。これは主に投資その他の資産が128,459千円（前連結会計年度末と比べ3,692千円減）となったこと等によるものであります。

流動負債は、32,436千円（前連結会計年度末と比べ857千円増）となりました。これは主に支払手形及び買掛金が3,667千円（前連結会計年度末と比べ2,688千円増）、前受金18,524千円（前連結会計年度末と比べ1,802千円増）、未払法人税等が2,210千円（前連結会計年度末と比べ3,965千円減）になったことによるものです。

固定負債は、6,330千円（前連結会計年度末と比べ3千円減）となりました。

純資産は、974,135千円（前連結会計年度末と比べ424千円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは売上並び費用に関して短期的な変動要素が多いため四半期ごとに決算実施及び企業の概況を開示することにつとめ、業績予想につきましては、開示を控えさせていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	671,187	661,958
受取手形及び売掛金	10,398	29,010
商品及び製品	2,646	2,566
仕掛品	4,241	—
原材料及び貯蔵品	579	532
その他	4,228	4,284
貸倒引当金	△307	△787
流動資産合計	692,974	697,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,226	26,226
減価償却累計額	△2,600	△2,908
建物及び構築物(純額)	23,626	23,317
工具、器具及び備品	2,175	2,175
減価償却累計額	△1,904	△1,940
工具、器具及び備品(純額)	270	234
土地	155,646	155,646
有形固定資産合計	179,543	179,198
無形固定資産		
ソフトウェア	5,871	4,686
その他	1,931	2,991
無形固定資産合計	7,802	7,677
投資その他の資産		
投資有価証券	12,239	12,230
差入保証金	2,952	2,952
保険積立金	95,715	95,715
長期前払費用	17,944	17,561
長期貸付金	6,900	3,600
破産更生債権等	162,332	162,332
貸倒引当金	△165,932	△165,932
投資その他の資産合計	132,152	128,459
固定資産合計	319,498	315,336
資産合計	1,012,472	1,012,902

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	978	3,667
未払金	2,105	2,150
未払法人税等	6,175	2,210
前受金	16,721	18,524
その他	5,597	5,884
流動負債合計	31,579	32,436
固定負債		
長期預り保証金	6,267	6,267
繰延税金負債	66	63
固定負債合計	6,333	6,330
負債合計	37,913	38,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,119,605	1,119,605
資本剰余金	1,348,605	1,348,605
利益剰余金	△1,493,770	△1,494,265
株主資本合計	974,440	973,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119	113
その他の包括利益累計額合計	119	113
少数株主持分	—	75
純資産合計	974,559	974,135
負債純資産合計	1,012,472	1,012,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)
売上高	37,640	42,974
売上原価	16,530	18,630
売上総利益	21,109	24,343
販売費及び一般管理費	32,446	23,977
営業利益又は営業損失(△)	<u>△11,336</u>	<u>365</u>
営業外収益		
受取利息	69	65
その他	38	—
営業外収益合計	108	65
営業外費用		
為替差損	—	0
営業外費用合計	—	0
経常利益又は経常損失(△)	<u>△11,228</u>	<u>430</u>
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	<u>△11,228</u>	<u>430</u>
法人税、住民税及び事業税	869	849
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△12,097</u>	<u>△418</u>
少数株主利益	108	75
四半期純損失(△)	<u>△12,206</u>	<u>△494</u>

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△12,097</u>	<u>△418</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	△5
その他の包括利益合計	63	△5
四半期包括利益	<u>△12,034</u>	<u>△424</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△12,143</u>	<u>△500</u>
少数株主に係る四半期包括利益	108	75

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年2月1日 至 平成25年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ITサービス事業	自社ビル 賃貸事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	34,754	2,885	37,640	—	37,640
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,900	1,900	△1,900	—
計	34,754	4,786	39,540	△1,900	37,640
セグメント利益又は損失	△156	2,634	2,478	△13,814	△11,336

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△13,814千円には、セグメント間消去500千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△14,314千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年2月1日 至 平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ITサービス事業	自社ビル 賃貸事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	39,785	3,188	42,974	—	42,974
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,865	1,865	△1,865	—
計	39,785	5,053	44,839	△1,865	42,974
セグメント利益	9,165	2,446	11,612	△11,246	365

(注) 1. セグメント利益の調整額△11,246千円には、セグメント間消去1,200千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△12,446千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。